

実証概要

設定した解決したい課題

地籍調査における認証者検査は、都市計画課の職員が各市町村に赴いて現地で検査を行っている。
現地検査にかなりの時間を要するため、事務負担を軽減したい。（現地検査は、現地までの移動、現地作業等、ほぼ1日かかっている。）

解決の方向性（実証事業者との協議結果）

オンラインミーティングツールとAR技術を活用して、認証者検査の中の現地検査を一部オンライン化することで、現地への移動時間や事務負担の軽減を図る。

<検証項目・KPI>

- ・ 現地検査における移動時間をなくす
- ・ 検査に関わる職員（他自治体含む）の満足度（50%以上）

試行運用の概要

<方法> 県職員及び市町村職員と試行運用を行い、開発した調査システムで現地検査の事務手続の一連の流れを検証する。

<期間> 2024年11月22日

Before



日程調整をし、現地へ行き、測定内容を記録

After



現地検査をオンラインで実施することにより、愛知県職員の移動時間・事務負担の削減

工夫したポイント

- ✓ オンラインの現地検査であったとしても、検査箇所のAR投影を実施することで、確認間違いが起きないようにした。
- ✓ 現地検査終了後の関連帳票の取りまとめの効率化のため、検査終了と同時に帳票が完成できるシステムを構築した。

実証実験の評価及びKPIの結果

- ✓ 現地検査を一部オンライン化するために、AR技術を搭載したアプリケーションを制作した（右下図）。現地検査に必要な撮影について、アプリケーションを用いて実施することができた。
- ✓ AR技術搭載のアプリケーションを利用したことにより、画面設計や操作動線など利用者満足度向上に繋げる意見や気づきが得られた。アプリケーション導入の際には、今回の意見や気づきの反映についての検討をする。
- ✓ ネットワーク及び電波の接続が悪く、通信不良な地域では、スムーズな配信が困難となる可能性がある。

<KPIに関連する結果>

- ・アプリケーションにより現地検査の一部をオンライン化できたことで、愛知県職員の現地への移動が無くなり、移動時間がなくなった。
- ・実証実験後のアンケートにおいて、過半数を超える約60%以上が、オンライン検査手法が現地検査の代替になると回答した。

導入に向けての課題と解決策

- ✓ 現地検査で使用する情報をアプリケーションで設定する際に、愛知県庁と各自治体との間で発生するメールでのデータのやり取りが煩雑なため、インターネット環境下にて保存・管理・連携できることが望ましい。
- ✓ データのやり取りをインターネット環境下で実施する場合は、地籍調査データ保管に伴う情報の管理とインターネット管理費用を考慮した上で、導入の検討が必要である。

愛知県庁（都市計画課）



オンラインで現地検査状況を確認し、現地検査で取得された情報の確認と関連帳票の出力ができる

各自治体（検査現場）



AR技術を搭載したアプリケーションを用いて、検査位置の選択、検査員の位置情報を表示し、オンラインで共有

オンラインで共有